

平成25年度第5回さぬき市行政評価委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成25年9月19日(木) 13時30分～17時00分
- 2 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 3 出席者 【委員】工藤委員 定岡委員 鈴木委員 津村委員
長山委員 奈良委員 柳井委員
【事務局】総務部長、政策課長、外2名
【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会
2 委員長あいさつ
3 議事
(1) 事務事業外部評価
①建設課
②都市計画課
③農林水産課
④商工観光課
⑤生涯学習課
(2) 次回開催日等について
4 その他
5 閉会

5 会議内容

発言者	意見概要
政策課長	(13:30) ただ今から平成25年度第5回さぬき市行政評価委員会を開催する。まず委員長からの挨拶をお願いしたい。
委員長	<委員長挨拶> 建設課から「河川事業」に関する事業説明をお願いしたい。
委員	<事業内容説明> 正規職員は1.3人となっている。1.3人ですべての事務を行っているのか。それとも何人かのグループで行っているのか。工事をする際にどんな風な工事をするのか。工法をどうするかというのを担当だけで考えるのか。専門の会社に頼んだりするのか。
建設課長	(この回答では) ポンプの関係、河川の関係だけを換算したが、今の担当課員は5人くらいで河川事業、道路事業、いろいろな事業それぞれに携わっており、実質換算したら1.3人で、技術的なものについては専門的なポンプ施設等であれば、技術職が必要になるので、ほとんどがコンサルへの発注となっている。
委員	ある意味コンサルにその丸投げと考えるとよいのか。

建設課長	いいえ。課内には技術職も、経験を積んだ者もいる。そのあたりで内容の審査、コストの縮減などの審査をしている。
委員	工法なんかも日々新しいものがでてきていると思うが、一、二人でやるのではなくグループで意見を出し合っているのか。
建設課長	はい。課の中の職員同士でもやるし、ポンプでは土地改良課、下水道課などにもいろんな施設もあるため、意見交換をしながら進めたり、また、他でコンサルで新しいデータなどがある。メーカー等からもセールス的には市の方へいろんな提案があるため、参考にしながら進めている。
委員	素人目には工事名だけではどこをどんな風に具体的にやったかわからない。透明にする方法はないのか。
建設課長	工事がわかりやすいように看板では、「〇〇河川改修工事」だけであったものを、〇〇川のどういう工事をするのか中身を詳しく示して一般的には知らせるようにしている。
委員	事業の中にダム管理負担金があるが、これについても地方債が使われているのか。
建設課長	ダムについては一般財源だ。
委員	河川事業は有用なものだと思うが、この間の台風のと、津田川、鴨部川では神前の住民に避難指示が出ていたと思うが、あの辺りについての改修工事の予定はどうなっているのか。
建設課長	さぬき市では津田川、鴨部川が大きな河川で、改修してある。津田川の上流へ行けば十分でない部分があるが、鴨部川については改修した時点で利水を優先にしたような河川改修が過去に行われており、堰を設けていない部分がある。そこで、ポンプ施設は鴨部川沿いには土地改良の施設は6か所くらい、建設課では沿岸部、また、川の下流で17施設、下水でも4施設とある。そんな状況で河川改修というのは改修済という状況。
委員	ダムの放流とかがあった場合にポンプ場の設置で解消できるということか。
建設課長	今あるポンプ場の維持、更新なり、また最近では雨の降り方が変わっているのである程度改良をしていかなければいけない状況である。
委員	このような工事をする場合、いわゆる合併特例債に頼っているのか。
建設課長	合併特例債に頼っている。
委員	合併特例債は何年か延長されたが、なくなったら困る。活用できるうちに十分防災面も含め、河川の強化をすすめてほしい。
委員	鴨部川と津田川の河川改修がほぼ完了しているとの話があったが、造田のあたりはもうすこし増設していったらいいと思う。先日の雨で少し浸かった。乙井橋周辺は改修できているようだが、そこから上流は不十分であると思う。

建設課長	必要がある箇所については河床整備についての要望を県に行っている。
委員	ポンプ施設の耐震化はどうなっているのか。
建設課長	ポンプの施設自身の耐震化などは改修に合わせて行っている。ただ、内水排除を目的としているので、津波への対策になるかという点と直接的な震災対策にはならない。
委員	それは震災へリンクしないのか。
建設課長	ポンプ施設は、沿岸部で今、改修しようとしているが、津波高から上の部分に重要部分を持っていくなどの対策は行っている。
委員	志度のポンプ施設はどうか。
建設課長	津波高には対応できていない。高潮に対する改良は行っている。
委員	波に飲まれないよう、別々の問題ではないので検討してほしい。
建設課長	現在建設中のポンプ施設は津波の高さに耐えられるような設計で進めてはいる。
委員	急いでやってほしい。なお、市内には池がいっぱいあるが、そのあたりの部分についても、検討していただきたい。池対策はどうなっているのか。
建設課長	土地改良課で10万トン以上の大きいものについては、ハザードマップをつくったり、池の耐震診断をしたりはしている。課題は小さい池をどうするか、今県も含めて検討をしている最中だ。
委員	ポンプ場というのは何か所あるのか。
建設課長	建設課の所管は、沿岸部がほとんどだが、17施設ある。
委員	合併特例債が使えるうちに大規模な改修はする予定か。
建設課長	今の状況では17のうち半分くらいが老朽化しており改修しなければならない状況だが、合併後平成16年以降、大きい施設から順に重点的に改修する。
委員	こういう問題は一般市民にはわかりにくい。老朽化したものは改修していかねばならないだろう。地方債が大部分だが、市民にどんなふうに周知しながら事業を進めていくのかを聞かせてほしい。
建設課長	予算については、市の広報紙で発表された分については事業ごとにある程度の公表はしている。地域性があるって、被害を経験した人たちからは直接に市に問い合わせもあり、生活に影響を及ぼすということで様々な要望がある。
委員	先日の台風では香川県内で3億円くらいの被害があったが、さぬき市ではなかったのか。

建設課長	今回は大きな被害はなかった。
委員	さぬき市民全体で被害を受けた人、高潮の被害、水に浸かったなどは被害を感じるがそうでない人は災害に無関心。そのへんのことを周知徹底しないと無関心な人にはさらに現状が見えなくなってしまう。老朽化したものを理解されないまま直さなければいけないというのは難しい。
委員	橋も老朽化している。
建設課長	今、さぬき市に 512 橋ある。あと 10 年ほどすれば、そのほとんどが耐用年数を過ぎてしまう状況にある。長寿命化、修繕計画ということで、修繕工事にも着手している。ある程度の予算もかけている。100 年くらいに寿命をのばすようにしている。
委員長	都市計画課から「地方振興事業」に関する事業説明をお願いしたい。
都市計画課長	<事業内容説明>
委員	利用の大部分が高齢者であるということであれば、高齢者が亡くなってしまふことでの減のほかに、高齢者でも車の運転ができる人が増えていることも勘案すれば乗車人員は年々減少してくると予想されるがいかがか。
都市計画課長	確かにそういった部分で減少しているが、通学等などに使っている住民もいる。高齢者もいつまでも免許を持ったままでは交通事故を起こすリスクも高くなるので、免許証を返却していただいてコミュニティバスを使ってもらふ仕組みを検討し、利用者の減少をくいとめたい。それから昨年度、地元へ行って協議を行い、路線の見直しも行ったが、利用増にはつながっていないため、現状をみて検討を続けていきたい。
委員	バスを見ることはあるが、人が乗っているのをあまり見ないが。
都市計画課長	朝、夕、とくに市内循環については文理大学の学生が乗れるように整備している。朝は補助椅子を使わないと乗り切れない状況だ。
委員	乗らない時間帯について考慮したらいいのでは。1 日何便、というのではなく朝だけなど効率的に走るようにしたらいいと思う。以前テレビでスクールバスを活用する事例を紹介していたがご存知か？
都市計画課長	路線の見直しを議論する際に、どういった乗客をターゲットとするかを検討したところ、買い物と病院と通学という結論になった。朝行って昼帰る、これをまんべんなくしようと思うとバスが何台あっても足りない。どうしても必要な時間を検討して今に至る。片便は乗っても帰りは乗らないという事例もあるが費用は変わらない。小中学校の統合でスクールバスがある。一般公募も含めて検討したらどうかというのは毎回議論になり教育委員会も含めて検討している。一般の人が乗って子どもが乗るのは安全という考え方と最近不審者も乗るということで安全が担保できないのではという課題もある。
委員	時間を決めて運行するのではなく要望に合わせて効率的に運行している町もあると聞くがどうか。

都市計画課長	<p>デマンド方式については県内では満濃町が行っている。視察させてもらったところ、システム管理に費用がかかる。小田地区へ行って住民にどういう方法にしてほしいか、デマンド方式の話もした。すると使い勝手が悪いと。お年寄りが電話するのは不便。やめるときにまた電話する。それなら今のままのダイヤで時間が短縮になる方法、行き先往復ルート、県道を通るのではなく国道を通るほうに変えてほしいという意見があった。</p>
委員	<p>一般財源から 4000 万くらい持ち出している。結構多い額だ。やはりいろんな方法があると思う。各町に実績もある。もう少し抜本的に考え直してやってみるのもいいと思う。いろんなやり方を参考にしてぜひ考えてもらえたらと思う。</p>
委員	<p>スクールバスをコミュニティバスとして活用する件についてであるが、子供が乗っているところに一般の方が乗るというのではなく、子供たちを送った後の時間帯にコミュニティバスとして運行してみてもどうか。</p> <p>小田地区の話が出たが、高齢者の自宅へ1年近く通った。高齢者が少し離れたバス停まで歩き、コミュニティバスを利用して 志度まで来ていた。家までバスが入れるのであればデマンドのほうが価値がある。免許書返納の話もあるが、車に乗らないと買い物ができない人もいる。夕方走るならコミュニティバス、スクールバスも含めて買い物に使ってもらえたらいいと思う。</p> <p>せっかくダイヤを変えても、自治会への説明が不足だと思う。</p> <p>あと、琴電の長尾駅と JR の造田駅をバスでつなげば利便性もあがるのではないかな。</p>
都市計画課長	<p>スクールバスの活用については検討したい。</p> <p>きめ細かくデマンドというものがあるが、デマンド方式をとるとタクシー業者との協力が必要になる。相談したところ、今のタクシー事業所の稼ぐ主流はわかっているのかと聞かれた。お年寄りを乗せて家まで行って病院へ連れて帰ることに力を入れている。それを市がデマンドするのならこちらは協力できないと言われた。事業者と協議して、今の形でやってもらえるかとタクシーには一部の路線を頼んだ。</p> <p>自治会への説明は、ダイヤの改定したところについては各支会へ行き説明会を実施した。自治会に行き、意見交換会もしたのちに今の方法に決めた。</p> <p>ことでんと長尾をつなぐことについては、確かに需要があるのであれば参考にしたい。ただ、新たに引いても、路線を作っても確実に乗ることがわかれば費用がかけられる。今後の検討課題にしたい。</p>
委員	<p>「乗るのであれば」というのではいつまでも進まない。長尾のことでんと JR の造田あたりをうまく時間帯を工夫、想定してみてもいいのでは、と思う。</p>
委員	<p>コミュニティバスについては志度駅から車で通勤できない場合、大学までバスに乗るという程度で路線については知らない。志度寒川津田線というのは、単に寒川に行き津田に行って戻るといったものなのか、山手線みたいに右回り、左回りの路線があったりするものだが、そういう風な路線の組み方などニーズがあったら運行してもいいですよという話にするのではなく、ニーズは掘り起こさなければ出てこない。これは大事なことなので、PR も含めて利便性も考えてニーズを掘り起こせば利用者も増えると思う。志度から津田まで行くことになって志度を中心にして、たとえば買い物、通学、病院で西回り、東回りなど考えられるが、そのあたりはどうか。</p>
都市計画課長	<p>志度、寒川・津田線については先ほど説明したように、市民病院のルート強化する</p>

	<p>路線で志度の人が市民病院へ行くための路線で、志度から市民病院へ行って津田へ行く。津田から市民病院に乗って志度へ行くという路線。循環線についてはうまく機能できていない部分があるが、その市内循環線が右回り、左回りがある。時間がうまくニーズに合っていない部分もある。</p>
委員長	<p>農林水産課から有害鳥獣被害防止対策事業に関する説明をお願いしたい。</p>
農林水産課長	<p><事業内容説明></p>
委員	<p>被害を受けた場合の補償はされているのか。被害補償措置はあるのか。</p>
農林水産課長	<p>ない。共済加入者はあるが、市としての措置はない。</p>
委員	<p>さぬき市は課が直接やっているようだが、他の課と連携することはできないのか。</p>
農林水産課長	<p>今のところ他のところと連携してイノシシの肉等の活用は考えていない。それが今後できるのであれば、今後、猟友会も捕獲に努めてくれるだろう。</p>
委員	<p>さぬき市は他の課と全体的に連携がない。もう少し、市としてどうするかというのを考えて。全体的に、事業のことしか考えていないように思う。連携にも取り組んでほしい。</p>
農林水産課長	<p>連携というか、土地改良課の事業で質問や回答をしているが、平成22年度から27年度までの計画で42キロ、柵の設置を行い、24年度まで10キロほど完了した。補助率については国50、県32.5、市12.5、地元5%となっている。また、猟友会対策協議会がさぬき市にはあり、それが、市が補助を出しているものだが、柵の設置を補助で行っている。設置実績は平成23年度から始めて、2423メートル、24年度で9378メートル、25年度の予定は4000メートルとなっている。</p>
委員	<p>技術的な質問だが、狩猟期間に捕まえたイノシシは食べていると書いてあるが、期間外は食べてはいけないのか。</p>
農林水産課長	<p>その決まりはないが、一般的に冬場の油が乗ったシシ肉を肉として販売しているため、猟期が始まる前後は若干肉にしていると思う。冬場が多いと思う。</p>
委員	<p>イノシシ肉は鴨部などで料理しているが、おいしいと言っていたり、公民館で料理が出たり、地域の中ではやっている。地域おこしの一環で行ってほしい。</p>
農林水産課長	<p>イノシシについては電気柵、ワイヤメッシュ柵で対応できるが、サルはそういった柵を乗り越えていく。通常、今は追い払いしかやっていない。花火を購入したりしているので、申出があれば渡すことができる。あとは自治会などで山へ追い返すしかないのかなど。いま、地域、山で200件のサルの調査を行っていて、アンケートの収集が終わった。県がおそらく来年の4月にまとめ、有効対策等が示されれば、我々も対応していきたいと考えている。 今のところ、柵に対して、これが有効だという策は見当たらない状況だ。</p>

委員	事前の質問でも書いたが、捕獲頭数の割には被害額が少ないという感じを受けた。というのは、どこに行っても、屋島でもイノシシが出ている。香南町でも。20 時台には 100 頭通ったという話も聞く。犬を散歩させる人は気を付けていただきたいという話も。サルも。ではさぬき市はうまくいっているのか。
農林水産課長	被害額について、実態は把握できていない。この数字は大川組合からもらった数字で、それ以外に農家が収穫前の農地で田んぼの中をイノシシが走ったといったような被害は多いが、被害額については掴めてきていないのが実情。相当あると思う。
委員	玉ねぎの束が全部やられたなどのひどい話もあるので、どうかと思った。
委員長	商工観光課から、さぬき市共通商品券発行事業について説明をお願いします。
商工観光課長	〈事業内容説明〉
委員	システムを延長するのに、これだけお金がかかるのはなぜか。そもそも、このシステムを最初に作ったのが、他の市でそれを使用した。その時に、きちんと費用、修正点など把握していたわけではないのか。
商工観光課長	今回 5 年経過したシステムについては若干の支障が発生しているが、このまま使用継続する予定だ。
委員	費用がかかる理由は。
商工観光課長	事業の有効性である。ファイルのシステム維持管理に費用がかかる。
委員	事業開始後 7 年が経過し、システム管理に維持費がかかるというのはどのように解釈したらいいのか
商工観光課長	今回、5 年間のリース期間の終了の年となる。平成 25 年 3 月をもって。更新するとなれば数百万の費用がかかる。
委員	更新でなく再リースではないのか。
商工観光課長	そうだ。
委員	再度聞くが、更新なのか、再リースなのか。
商工観光課長	再リースである。
建設経済部長	システムの関係だが、基本的には 5 年のリースが来年満了になる。現実的に直近まで運営していくということだが、実際の事務の運用については商工会に委託している。商工会での事務作業の中で、最近、保障面が若干ネガティブであるということで基本的には来年 3 月の更新時にシステム全体を再度更新せざるを得ない状況になる可能性もあったということだが、この評価委員会の回答を出す時期と商工会との協議が時期的に並行で進行しており、最終的には協議した結果、システムの更新には多大な費用がかかるということ。今現在の共通商品券の事業の進行状況、進捗状況、実際のシ

	<p>システムの運用についても再三再四、業者のほうにもいろいろ調べてもらって、最終的には更新時に再リースということでも可能だと、機能的に、結果的に出たので、今のシステムを再リースするという結論に至った。そのため、みなさんに配る時期と商工会とのシステムをどうするかについての協議が並行していた結果、内容が迷惑をおかけする文面になったということをお詫びする。</p>
委員	<p>たぶんこのシステムを使おうと決断された時点で、有効期限もあるから再リースは決まっている。そしたら、何システムだったらいける、このシステムを大幅に変える・変えないとかという問題があるのなら別だが、使うという質問はあったのか、なかったのか。あるいは課でこのシステムに精通する人がいないのか。全部聞かなければわからないから、そのような判断ができなかった、ということはないのでは。</p>
商工観光課長	<p>システムについては部長の言うとおりの、商工会の品物があるし、そこで使っているわけだが、故障の頻度等を判断して、再リースするのか、新しいシステムを購入するのか協議を進めている。その中で技術的なことは、商工会の担当職員が実際に運用しているわけで、担当者と連絡を取りながら、再リースしなければならないのか、買わなければならないのかというのは協議すると、そのなかで部長が言ったように再リースしてあと数年という結論に達した。</p>
委員	<p>商工観光課はどこまでこの商品券発行に携わっているのか。商工会に任せたらダメなのか。</p>
商工観光課長	<p>はっきり言うと、東かがわ市は、商工会に商品券事業を任せている。市が絡んでないところもある。自主運営ができる状況になればそうしてもらうのが筋とは思う。</p>
委員	<p>むしろそっちの事業を早く検討したほうが良いのでは。</p>
商工観光課長	<p>さぬき市商品券は1年間有効。閉鎖するには1年間は市が面倒をみななければならない。東かがわ市においては9月末に完全撤退して商工会に任せる。つまり1年前に決断した。その前に議会と協議して、商工会に任すべきだという結論に至った。</p>
委員	<p>さぬき市は東かがわ市より後で商品券事業が始まったわけだが、そういった（商工会にすべてを任せる）時期に来ているのかと思う。</p>
委員	<p>1万円の商品券を買ったら、1万1000円になるといったようなプレミアム商品券もあったと思う。業者から請求が来たら誰が負担するのか。</p>
商工観光課長	<p>8割がさぬき市、2割が商工会。今は通常のものしか出回っていないため、1万円なら1万円。</p>
委員	<p>管理しなければならないから、業者にお金を払わなければならないわけだが、24年度だったら400万円くらいだったか、一般財源の持ち出し。少ない気がする。2割の負担を入れて400万円ということか。</p>
委員	<p>結局、相当な負担がある割には市としても、大型店が67%。大型店というのは税金分に相当するとはいうが、実際は市には入っていないのでは。本店が一括して納めるはずだ。そうすると効果がないように思う。実際、税金で効果などがあるとしても10件のうち効果があったのは1件で、9件は効果なしと答えている。私も個人的に使っ</p>

	ていい面もあったが財政面など考えたらのちになくなるのではと思った。
商工観光課長	今回の一般財源からの繰り出しのなかでプレミアム商品券の 800 万円は別予算で、特別会計から払ったのではなくて、一般会計から直接商工会へ支払っているの、今回の中に入っていない。
委員	この事業の会計以外から補てんしてよいのか。
委員	もっと早く商工会に移管しないとイケなのでは。
委員	抜本的に見直したらどうか。
委員	活動指標があるが、平成 25 年度の 96000 枚のうち、1000 円券、500 円券は何枚か。
委員	商品券の換金の申請額は出ているのか。
商工観光課長	枚数はわかりかねるが、(申請額は) 25 年度は 1 億ジャストであった。
委員	前年度は 2 億…今年 1 億と、そんなに減るのか。
商工観光課長	昨年はプレミアム分が 1 億 1000 万円入っていた。
委員	プレミアムについて知りたいのだが、これからはもうしないのか。
商工観光課長	去年は合併 10 周年だったので特別に行った。
委員	今年、これからは考えていないということか。
商工観光課長	そうだ。
委員	プレミアムは一部の人にしか回っていない。エリアによってはだいぶ換金されたところと、そうでもない地区があり、差があるようだとしている。それも問題では。
委員	換金率について 75%というのは間違っていて 67%になっているが、市や商工会がそこに対する作業をやっているのか。
商工観光課職員	商工会では、例えばマルナカでお客さんが持ってきた商品券を集めて商工会へ持っていく。商工会で回収受けという機械があるのでそこに商品券を交換している。
委員	コープ、ジョイだとか大型店舗は商工会に入っているのか。
商工観光課長	入っている。
委員	今回の目的は地域活性化であるが、最初の目的は地域性。大型店がどんどん進出してくるなかでの地域での活性化はどんな形で考えているのか。
商工観光課長	大型店ばかりで(商品券が)使われて地元根差した地域の小さな店で使われていな

	いとすると大型店で使えないようにする話も商工会及び過去の答弁の中であった。商品券の発行事業が市の名前でしている関係で、そういうことができないと判断したようだ。本当は地域に根付いた、地元で、高齢者が「近くで助かる」と言ってくれたら地域振興になるというのが事実だと思う。商工観光課は何をしているのかと言われたら、具体策がなくお叱りを受けるのはあると思う。その意味で商工会との連携はとっている。議論を続けていきたい。
委員	事業の効率性のところに書いてある「地域商工業の活性化、地域経済の振興に対する効果が希薄化してきている」とあるが、希薄化というのは全然効果が表れていないということ。だから要改善扱い。これは市でやる仕事でなく商工会に任す仕事だと思う。
委員	総売上高は数年に一度しか出ないが経済センサスの確定というのは11月に出る。たぶん期待に添えない数字になるかと。一般的に、購買力は落ちていて、若い人は高松に買い物に行っている。通信販売をのぞいたら恐らく350億近辺だと思う。購買力は、それこそ300割るかどうかというところまで行くのでは。効果が疑わしい。ただ、止めて、ただただ地域経済が衰退していても困る。(商品券事業の)必要性はあると思う。やり方は考えた方が良いでしょう。
委員	さぬき市ケーブルネットワークの関係で、STネットが商品券を活用していた。一般的な販売以外での商品券はどれくらい売れているかわかるか。
商工観光課長	プレミアム商品券以外では年間7000万くらいの売り上げがある。
委員	政策的というか、何かの景品で使うというやり方があるから、制度そのものが全く必要ないとは思わない。
委員長	生涯学習課から、公民館管理事業についての説明を求める。
生涯学習課長	〈事業内容説明〉
委員	何年か前に公民館施設の使用料をいただくとか、いただかないとか。そのあたりはどうなっているのか。
生涯学習課長	公民館に限らず、各施設の使用料の統一や合理化については平成19年度に議会に提案すべく準備を進めていたが、全庁的な取り組みが必要だろうということでした。白紙に戻った。公民館の使用料についても各定期使用団体、各講座等については減免となっており、その他一般的な使用者には規定、条例通りの使用料をいただいている状況である。
委員	公民館の管理人の対応が各館でばらばらと感じる。津田は評判がいいと思うが、その他は改善が必要ではないのか。
生涯学習課長	公民館の館長なり、管理に関しては人材不足と感じるところがある。館長についてもOBが多く、高齢が多い。管理人に関しては30～40歳代が多い。津田公民館については献身的に仕事をしてきている。公民館サービスの面から考えると他の公民館にも波及させていかなければと考えている。貴重な意見に感謝する。
委員	公民館の館長同士の連絡会、打ち合わせなどはどうか。

	他の公民館でいい面をまねするなど、それぞれが見習うことなどが大事でないかと。関連する人たちの打ち合わせを密にしていってよと思う。
生涯学習課長	必要なときに、公民館長会という意見交換会は実施している。それぞれの問題点であるとか、各地区で活動の中身も若干違うことはあるが、意思疎通をすればと思っっている。公民館サービスという面から考えると、個別に一生懸命というだけにならないように、委員の意見も反映させていきたいと思う。
委員	公民館は地震などの災害で避難する場合もある。全公民館で対策しているのか。
生涯学習課長	全部ではない。耐震も終わっていない。
委員	心配なのは耐震化が済んでいないところだ。公民館を避難施設から外し、耐震化の終わっている学校などにしてはどうか。(避難場所は)早く耐震化をすべきだと思う。
生涯学習課長	そのとおりだと思う。しかし、耐震化については財政負担が大きいのでなかなか難しい。教育委員会は望んでも市としては決断してもらえない。一時診断はすべて済ませた。今は二次診断。どれくらい費用がかかるのかを昨年からあたってている。現在も調査中である。避難所になっている限り、耐震化が必要であることはわかっているが、財政面も大きな問題である。
委員	避難者に対し、マニュアルというか、訓練は全館長がしていると思ってよろしいか。
生涯学習課長	知識はあると思う。しかし、公民館というのは避難所として開設されると、建物の所管は生涯学習課ではあるが、実際に中で運営するのは健康福祉部の職員となる。
委員	一時的な、カギを開けるなどは(館長が)担当するのか。
生涯学習課長	する。
委員	5つの公民館と8つの分館合わせて、13館で合わせて212講座開かれている。講座の中身は誰が決めるのか。職員は館長だけで、あとは一人の留守番でしかない。
生涯学習課長	自主講座なので、それぞれの市民が決めている。例えば、編み物が得意な人は編み物同好会を立ち上げてそれに賛同してくれる人たちが週に2回、講座を開くのでぜひどうかと。市民が代表となりそれぞれ得意な分野で講座を開いている。
委員	そうすると、公民館や分館は貸し施設ということだけか。
生涯学習課長	公民館の目的は、講座を開設する場所としての役割も重要となっている。講座が開かれるということは公民館事業のひとつだと考えている。
委員	つまり、そうしないと、よくやっている・やってないという話はなかなか出てこない。公民館独自の活動はどこにもない。高松市にはコミュニティセンターがあり、さぬき市の公民館との違いはどこにあるのか。
生涯学習課長	公民館は、講座であるとか、いろんな施設(部屋)の貸し出し、いろんなボランティアの養成をする教育などといった活動が中心で、団体の会合にも使用している。コミ

<p>委員</p>	<p>ユニティセンターというと、自治会が主体となって運営しているという印象だ。コミュニティセンターは地域という使われ方だと思っている。</p> <p>自治会は関係なく、コミュニティセンターのセンター長が中心になって、スタッフとともに彼らが主体的にいろんなことをやっている。2月半ばに香南町の香南地区文化祭をやる相談を受けた。文理大学には音楽学部がある。学部長がウイーン国立大学のピアノ科の教授で世界的に有名なピアニストだ。1時間演奏会をやってほしいと頼まれたので本人に聞いたら、問題ないと。私には、言葉づかいに關した話をお願いできないか、と言われた。講座が212もあって、市民にやりたければどうぞ、というのもそれはそれでいい。しかし、夜間はお留守番だけという運用は公民館活動としてはあまり望ましい形ではないような気がする。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>夜間については講座のカギを預かってやるというのはおっしゃる通りである。管理については、特色あるいろんな活動をということで、館長なり、地域が中心となった活動もしている。文化祭も秋には各地区公民館で実施される。学校支援ボランティアも公民館を拠点に活動している場合もある。夜間の活動についてはもっと範囲を広げたほうがいいという指摘はその通りだと思う。今後そういったことも検討したい。</p>
<p>委員</p>	<p>自治会、老人会、子供会はあると思うが、他系統の団体を公民館区域の全社会団体をグループにしたみたいなの自治協議会というのはさぬき市では導入していないのか。コミュニティセンターで地域団体がよく活動しているというのは、統合する団体が常にやり取りしている。それをやらないとなかなか公民館は使われないかと思う。もし、老人会、子供会のひとつひとつがたくさん活動していて、単に統合されていないだけなら統合する措置があれば機能するのかなと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>